

NPO部門

奨励賞

# さつま町女性団体連絡協議会

## 薩摩郡さつま町

### 団体の紹介・活動の目的

さつま町女性団体連絡協議会は平成17年に設立し、現在町内7つの女性団体(1,597名)が相互に連携・協力し、共生・協働の地域づくりを進めています。

少子高齢化や青少年問題、厳しい財政状況、雇用問題など多くの課題に直面した社会情勢の中で、女性の知恵と実践力を地域の力として、共生・協働の組織力で男女共同参画社会の実現及び地域社会の発展に向けて積極的に活動しています。

### 連携・協力している団体など

永野・結い・きらめき会、さつま町母子寡婦福祉会「福寿草」、さつま町商工会女性部、さつま町食生活改善推進員連絡協議会、さつま町PTA連絡協議会、さつま遊友会、さつま町更生保護女性会、さつま町、さつま町教育委員会など。

### 活動の内容

7つの団体から出される多岐にわたる議題等に対し、共通理解を図るため、講師を招き学習会を開催するほか、先進地研修や各団体の推進する事業等を共有するなど様々な活動を実施しています。

- ・町長と語る会の開催・女性議会の開催  
(行政に対する女性の意見の提出及び陳情に関すること等)
- ・女性大会の開催  
(相互の活動報告及び研修活動に関すること等)
- ・月1回の協議会役員会の実施  
(相互の意見交換と諸活動の推進に関すること等)
- ・プルタブ、ペットボトルキャップの回収  
(ボランティア活動の推進等)



【女性議会】

男女共同参画社会の実現に向けて、女性がまちづくりや町政も興味をもつ機会をつくるため、女性議会を開催しました。



【女性大会での外国人女性との交流】

町内で増加している外国人(ベトナム人女性)との交流を行い、多文化共生について考えたほか、心と身体の健康を守るための講演会等を開催しました。



【生ごみ分別回収の先進地研修】

町内で段階的に進める計画であった生ごみ分別の先進地研修を行い、その有益性を町長に提言して早期の実現が実現し、令和元年度の町内の燃えるごみは489t減少しました。



【女性のネットワークを活用したマスク作成】

新型コロナウイルス感染症予防のため、同協議会のネットワークにより約100名の方に賛同いただき、4,000枚のマスクを約1カ月半で作成し、町内の子どもたちに1人2枚ずつ配布しました。